

3 令和7年度水産関係予算の概要

(1) 水産課

事業名	令和7年度 予算額(千円)	前年度額 との比較	事業概要
水産振興 企画調査調整費	5,895	△ 19,966	○ 水産業の振興諸施策の企画調整 ○ 関係機関との連携による水産技術の革新
漁と魚と料理を堪能できる 北の近江プロジェクト	10,600	10,600	○ 湖北の漁村・醒井養鱒場を活性化するモデルの構築
水産金融対策費	135,094	110,465	○ 水産業の経営安定・合理化の促進、生産基盤の充実 を目的とした制度資金の融資 ○ 県漁業信用基金協会の育成強化
漁協経営基盤 強化対策事業費	8,700	1,700	○ 新漁協運営体制整備への支援
湖北の漁業の魅力 最大化促進事業	0	△ 5,500	○ 湖北の漁村の活性化に向けたモデルの構築
水産基盤整備事業費	24,206	9,000	○ 水産資源の増殖施設(ヨシ帯・砂地)の管理・機能保 全 ○ 漁港施設の機能保全対策への支援 ○ セタシジミ種苗の放流
流通対策費	0	△ 500	○ 湖産魚介類の消費拡大や流通促進に 向けた関係団体の取り組み支援
びわ湖のめぐみ 食文化継承促進事業費	0	△ 7,700	○ 地域のネットワーク構築を支援し、持続的に湖魚の 取扱情報を発信することによる消費拡大促進
多様で革新的な 流通モデル実践事業費	10,000	0	○ 経営スキルの強化を目的に、意欲ある流通事業者と 連携し、新たな販路の検討を行う活動へ支援
水産業養殖用配合飼料 価格高騰緊急対策事業費	13,400	1,800	○ 養殖用配合飼料価格の高騰により大きな影響を受け ている養殖業者の負担軽減に向けた支援
湖魚食材物価高騰 緊急対策事業費	16,000	16,000	○ 大学・企業の食堂等を通じた湖魚食材の需要喚起 ○ 学校給食において湖魚を利用する取組の支援
水産資源の最大活用に向け たスマート水産業体制整備 事業	3,928	△ 42	○ 漁獲情報を電子データ化し収集する仕組構築
有害外来魚ゼロ作戦 事業費	22,467	△ 777	○ ブラックバス・チャネルキャットフィッシュの駆 除・回収処理 ○ 漁業者による外来魚捕獲に要する経費補助 ○ 電気ショックカーポートによる産卵期集中捕獲
カワウ漁業被害 防止対策事業費	2,621	347	○ カワウによる漁業被害の軽減のため、花火による追 払、防鳥糸設置の支援
ニゴロブナ栽培漁業 推進事業費	27,926	△ 330	○ ニゴロブナの種苗生産、放流および放流効果調査 ○ ニゴロブナの再生産回復に向けた研究
多様な水産資源維持 対策事業費	8,430	0	○ ウナギおよびビワマスの種苗放流
アユ等水産資源維持 保全事業費	44,272	2,048	○ 人工河川の運用および保護水面の管理によるアユ資 源の維持保全
セタシジミ資源の 持続的管理実証事業	3,191	66	○ 種苗量産放流技術の確立・漁場への放流 ○ 再生産の現状把握・資源管理目標の研修 ○ 検討会の実施

ニゴロブナ生存率向上 条件解明研究事業費	0	△ 3,158	○ 多種多様な環境に放流されたニゴロブナの成長と生 残から生残率向上条件解明に向けた調査事業
養殖漁業振興事業費	200	0	○ 水産用医薬品の残留検査にかかる補助
養殖新産業確立検証事業	6,566	6,566	○ ビワマス湖中養殖技術の開発 ○ 淡水真珠の稚貝生産者の養成
河川漁業振興費	4,067	0	○ 資源維持を目的とするアユ・アマゴ・イワナ種苗の 河川への放流 ○ 釣り教室の開催など、川の魅力体感事業の推進
琵琶湖漁業ICT化推進 調査事業費	0	△ 1,800	○ 漁労行為のデータ化に向けた調査事業
水産業改良普及事業費	151,591	145,248	○ 漁業経営の合理化・近代化、後継者の育成に向けた 事業の展開・指導
しがの漁業担い手 フルサポート事業費	16,450	0	○ 就業希望者の受入態勢充実 ○ 担い手の販売スキル向上のための意識醸成
県がセールス担当として “湖魚”の魅力を売り歩く 事業	2,500	△ 4,500	○ 湖魚の戦略的なPRと需要喚起に向けた取り組み
琵琶湖漁業再生ステップ アッププロジェクト事業費	24,158	△ 14,473	○ 琵琶湖の保全・再生を図るための水草の除去、外来 魚駆除、種苗放流
水産業協同組合指導費	317	4	○ 組合組織基盤の確立、運営の健全化に向けた指導・ 監督 ○ 関係団体の研修事業に対する助成
漁業調整指導費	8,719	2,148	○ 海区漁業調整委員会・内水面漁場管理委員会の開催 ○ 漁業権漁業・許可漁業等の調整処理事務
醒井養鱒場150周年 みらい創造事業	0	△ 5,500	○ 醒井養鱒場を中心とした周辺地域の活性化に向けた ビジョンの作成と検証
水産課小計	551,298	241,746	

(2) 水産試験場

事業名	令和7年度 予算額(千円)	前年度額 との比較	事業概要
運営費	54,536	10,633	○ 水産試験場の運営整備
【長】庁舎整備費	89,438	78,738	○ 水産試験場の老朽化に対応するための整備事業
水産試験場本館等 敷地測量費	20,274	20,274	○ 水産試験場本館等の更新に向けた現地測量・境界測量
試験研究調査費	23,886	5,951	各種研究調査(詳細以下)
養殖場防疫・ 疫病対策事業	3,644	194	○ アユ冷水病の予防・治療対策の研究 ○ 養殖漁業における魚病の実態把握、技術の開発 ○ 医薬品の適正使用等の指導
水産資源評価 モニタリング	2,721	696	○ 琵琶湖の漁獲対象種に対する資源動向のモニタリング・評価
アユ資源・漁獲情報 発信高度化研究	0	△ 1,272	○ アユ資源変動の詳細な予測技術開発
魚類等増殖環境評価 調査研究	0	△ 285	○ 南湖底泥の富栄養化調査研究 ○ 魚類増殖場としての湖辺残存水面等評価調査
外来魚駆除対策研究	3,173	3	○ オオクチバスや新たな外来魚の生息状況変動要因の 説明 ○ 効率的な駆除技術開発
増養殖技術研究費	546	△ 4	○ 重要魚種の増殖技術および養殖技術の開発
漁況予報調査研究費	1,470	36	○ アユの資源状況把握調査
漁場環境調査研究費	715	65	○ 琵琶湖の漁場環境を把握するための継続調査
湖底耕耘による漁場生 産力向上実証研究	0	△ 563	○ 湖底に蓄積した栄養塩を湖水中に回帰させること による漁場生産力の回復技術の実証研究
淡水真珠母貝の 効率生産実証研究	1,840	△ 100	○ 母貝の安定的な生産技術の開発 ○ 在来イケチョウガイの系統保存
「滋賀の水産業強靱化 プラン」推進研究	2,862	266	○ 漁獲情報の迅速な収集を行い、高度な資源の調査や 評価を実施
琵琶湖の漁場生産力の 評価及び回復に関する 技術開発研究	6,915	6,915	○ アユを指標とした沖合の漁場生産力の評価 ○ ニゴロブナを指標とした沿岸の漁場生産力の評価
養鱒事業費	23,060	0	○ 醒井養鱒場において指定管理者による管理を行う
特産マス類を用いた 河川利用の高度化 と優良種苗化研究	1,610	100	○ 特産マス資源の保全と活用に関する調査研究
水産試験場小計	212,804	115,696	

(3) 水産関係合計

水産関係合計	764,102	357,442	
--------	---------	---------	--